

萩ジオパーク構想のみどころ

①は写真中の番号に対応しています。



5 約1650万年前、日本海で最初に堆積した地層とその中に入り込んだ斑れい岩とその熱で焼かれた地層—須佐湾

日本海の拡大がほぼ終わった約1650万年前、洪水などによって日本海に運ばれてきた土砂のうち、礫は河口や浅い海に、砂や泥は海の中の斜面(大陸斜面)に堆積しました。地震や洪水、暴風時などの振動が引き金になって大陸斜面で海底地すべりがおこり、砂岩(白い縞)と泥岩(黒い縞)の層が一緒できました。このようなことが何回も起こって、白と黒の縞が繰り返す地層ができました(須佐層群)。約1600万年～約1500万年前には、玄武岩マグマが海底に噴き出し海底火山を作りました。約1500万年前には、地層の中に海底火山と同じ化学組成のマグマが入り込み(高山斑れい岩)、その周辺の地層がマグマの熱で焼かれて、もとの岩石とは全く違った鉱物の組み合わせとなり、見え方が異なる岩石(ホルンフェルス)になりました。



7 高山の磁石石。磁力をもった鉱物(磁鉄鉱)が大量に存在する。高山山頂付近に分布している。高山斑れい岩の一部。

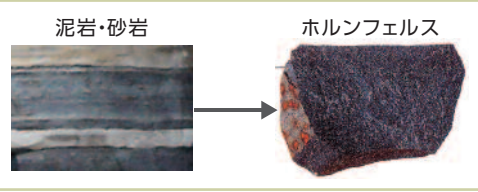


8 約1600万年～約1500万年前に海底で噴出した火山。噴出したマグマは、高山斑れい岩と同じ化学組成のものである。

泥・砂・礫や火山から噴出した物質でできた岩石

もとの物質の でき方 粒 径	地表の岩石の侵食		火山の噴火	
	破片	岩石	破片	岩石
64mm以上	礫	礫岩	火山岩塊	凝灰角礫岩
64mm～2mm	砂	砂岩	火山礫	火山礫凝灰岩 ラピリスートン
2mm～1/16mm	シルト	泥岩	火山灰	凝灰岩
1/16mm以下	粘土	頁岩		

マグマの熱で泥岩がホルンフェルスに変わった



マグマが地層に入り込んだ部分

